

“Mapping the evolution of the central government apparatus in China”

「中国における中央政府機構の発展の解説」

Liang Ma, Tom Christensen

Abstract

政治及び行政制度の構造は公共の目的を達成するために重要である。しかし、それは不変ではなく、環境や文化の推移の結果として、または、リーダーシップの変化によって変わりうるものである。中央政府機構における構造の変化は、近年の改革や変化の流れを論じる文献の主要な特徴となっているが、西洋の民主主義以外の文脈における構造の変化についてほとんど知られていない。

本論文は過去 70 年間の中国の中央政府機構の構造の変化の主な類型及びその考えられる理由について分析する。その結果、行政の発展と連動した構造の変化という興味深いパターンを発見した。組織論における複数の視点を用いると、これらのパターンは主に政治的周期や中央のリーダーシップによる行動によって説明できるが、文化的要素や経済成長、社会の変容も影響していることが明らかになった。

Points for practitioners

本論文では 1949 年から 2016 年までの中国の中央政府における組織の構造改革の主要なパターンについて取り上げる。その結果、政治的周期や経済改革及び発展は構造の進化の主要な推進力であったことが分かった。また、本研究の結果はトップリーダーたちの政治的意思は構造の改革を導くことにおいて重要な役割を果たすが、制度の改革は未だ大部分が、政府機構の大勢の実質的な変化を伴わないレトリックや象徴に限られていることを示している。持続的な構造改革の実現を成功させることは難しく、この事実は行政上の過程を合理化し、政府機関間の連携を改善するためには、代替的な手段が求められることを示唆している。